

技術指定書 TECHNICAL SPECIFICATION	TAD-D0051	△の数 COUNT	訂正記事 REVISIONS	担当 BY	検図 CHKD	年月日 DATE
名称 TITLE						
MMCX-P-178B/U 結線図						

1. 適用範囲






下記製品の結線方法について規定する。

製品名 PART NO.	CLコード CODE NO.
MMCX-P-178B/U	CL339-0010-8

2. 結線方法

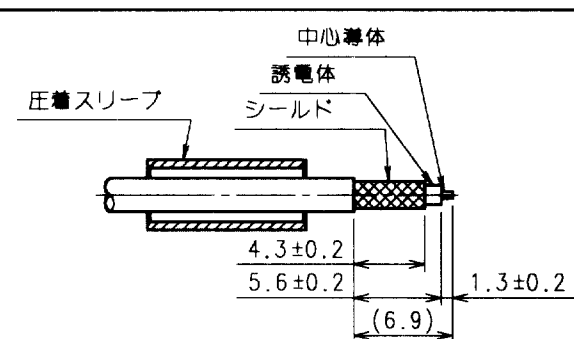
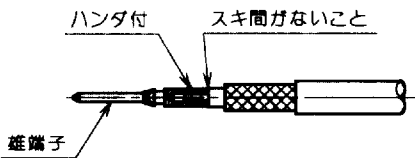
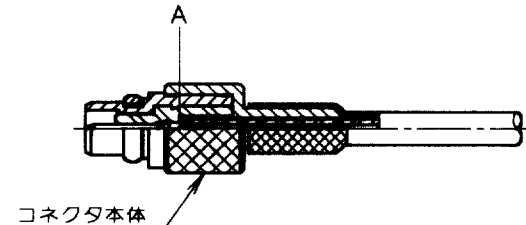
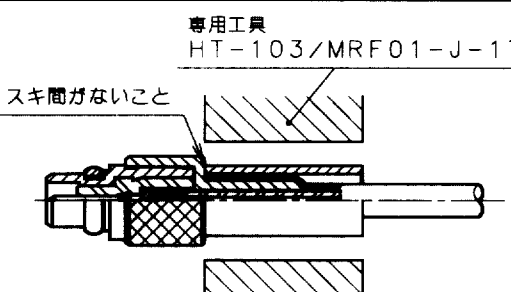
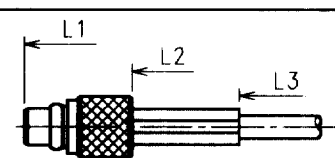
次頁による。

配布先
TO
RF

	作成 WRITTEN	担当 DESIGNED	査閲 REVIEWED	承認 APPROVED	出図 RELEASED
					
	0.1.11 三宮	0.1.11 三宮	0.1.11 清水	0.1.12 三宮	



△の数 COUNT	訂正記事 DESCRIPTION OF REVISIONS	担当検図 BY	検図 CHKD	年月日 DATE	△の数 COUNT	訂正記事 DESCRIPTION OF REVISIONS	担当検図 BY	検図 CHKD	年月日 DATE
△				..	△				..
△				..	△				..
△				..	△				..



A	作業図	作業内容
1		<p>1-1. このコネクタに適合する同軸ケーブルは下記の通りである。結線の前にはあらかじめ圧着スリーブを選しておくこと。 ケーブル名 RG-178B/U</p> <p>1-2. 左図の寸法で末端処理を行う。 注) 末端処理時、中心導体・誘電体・シールド (特に各切断部) に傷を付けないように十分注意すること。</p>
2		<p>2-1. 雄端子をケーブル中心導体にはんだ付する。 注) 雄端子とケーブル誘電体間にスキ間がないこと。 注) 雄端子外径部に盛り上がったのはんだはナイフ等により削り取ること。</p>
3		<p>3-1. シールド編組がコネクタ本体に入らぬよう注意してケーブルをコネクタ本体に挿入する。 注) 挿入は絶縁層のA端面に雄端子の股が当たるまで確實に行うこと。</p>
4		<p>4-1. 圧着スリーブを図の位置まで移動させ専用工具 HT-103/MRF01-J-178 にてカシメる。 注) 圧着時にケーブルが動かない様に気を付けること。</p>
5		<p>(参考) ハーネス後のL寸法とケーブル切断長について ケーブル切断長: L1-4.9 L2+2.1 L3+9.1</p>

CL339-0010-8

備考 REMARKS

製図 DRAWN	担当 DESIGNED	検図 CHECKED	承認 APPROVED	出図 RELEASED
RF技 0.1.11 三宮	RF技 00.1.11 三宮	RF技 清水	RF技 00.1.12 三宮	

結線図

旧製品コード CODE NO. (OLD)	 尺度 SCALE FREE 単位 UNITS mm	図番 DRAWING NO. TAD-D0051  ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.
--------------------------	---	---

製品名 PART NO. MMCX-P-178B/U	製品コード CODE NO.
	2/2

TO
RF

